

# 岡山県くらし

**No.60**  
**2020.1**



一般社団法人 **岡山県産業廃棄物協会**

平成30年7月豪雨災害に係る災害廃棄物処理業務（岡山県委託事業）を受託したOS-JVは、今年6月末の処理完了に向け全力で処理中です！  
今年も、引き続き、御協力をお願いいたします。

## 災害廃棄物二次仮置場（水島処分場内）の廃棄物保管状況



**岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体（OS-JV）**

住所：岡山県倉敷市水島川崎通1-20

TEL：050-5433-5260

URL：okayama-saihai-jv.info/

◆年頭あいさつ◆

|                                             |   |
|---------------------------------------------|---|
| 年頭挨拶 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会長 大塚 雅司               | 2 |
| より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向けて 岡山県環境文化部 部長 古南 篤子 | 3 |
| 新年のご挨拶 ～環境負荷の少ない持続可能なまちづくり～ 岡山市環境局長 門田 和宏   | 4 |
| 新年のごあいさつ 倉敷市環境リサイクル局 局長 三宅 幸夫               | 5 |
| 令和2年年頭所感 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一         | 6 |

◆特集 災害廃棄物処理の現場から ◆

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 平成30年7月豪雨災害に係る災害廃棄物処理業務の概要と処理現場での雑感 | 7 |
|-------------------------------------|---|

◆行政NEWS◆

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| 産廃の違法運搬を食い止める！ ～抜き打ち検査を実施しています～           | 15 |
| 循環資源マッチングシステムのご紹介です                       | 16 |
| 業務用冷凍空調機器を引き取る際には、フロン類が回収されていることを確認してください | 17 |

◆事業報告◆

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 日帰り視察研修会レポート              | 18 |
| 宿泊視察研修会レポート               | 20 |
| 第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して | 22 |
| 《e-Lady21のつどい》に参加させていただいて | 23 |

◆支部ニュース◆

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 岡山西支部・岡山中央支部 合同環境クリーン作戦 | 25 |
| 倉敷支部 第25回 倉敷地域環境クリーン作戦  | 26 |
| 倉敷南支部 環境クリーン作戦          | 27 |
| 井笠支部クリーン作戦              | 28 |
| 備北支部 高梁地域環境クリーン作戦       | 29 |
| 第25回津山支部 環境クリーン作戦       | 30 |

◆青年部のページ◆

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 全産連中国ブロック青年部協議会 活動レポート              | 31 |
| 全国産業資源循環連合会青年部会協議会 第10回 カンファレンスIN神戸 | 32 |

◆委員会報告◆

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 全国産業安全衛生大会 in 京都に参加して | 33 |
|-----------------------|----|

◆会員紹介コーナー◆

|            |    |
|------------|----|
| (有)フクイクリーン | 34 |
|------------|----|

◆事務局だより◆

|                           |    |
|---------------------------|----|
| (公社) 全国産業資源循環連合会中国地域協議会報告 | 35 |
| 研修会等の開催報告                 | 36 |
| 表紙写真ガイド／編集後記              | 37 |



\*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。

# 年 頭 挨拶

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会長 **大塚 雅司**



会員の皆様、あけましておめでとうございます。

令和初めての年が明け、今年は十二支の1番最初「子」の年です。新しい物事や運気のサイクルの始まる節目の年と言われています。

今年は東京オリンピックの年ですが、我が国の景気は、世界経済の減速を背景に輸出が減少し、消費税増税による反動等により内需の伸びが鈍化すると危惧されています。

また、昨年は東日本で大きな台風災害が発生しました。一昨年の西日本豪雨災害に続く大規模災害で、「災害大国」となった今の我が国において、災害廃棄物の処理は大きな課題となっており、産業廃棄物処理業界の支援への期待も大きいところです。

また、中国等による使用済プラスチックの輸入禁止により問題化している廃プラスチックの国内リサイクル処理についても、産業廃棄物処理業界として社会貢献していかなければなりません。

このように廃棄物を取り巻く環境が大きく変わってきている中、産業廃棄物処理業界は、循環型社会における中心的役割を担う地位を確保すべく、振興法の策定に業界を挙げて取り組んできているところで、産業廃棄物処理企業には、安全衛生や人材育成、また環境配慮の取り組み等が求められています。

一方、岡山県内を見ると、一昨年発生した西日本豪雨災害の災害廃棄物処理は、当協会の後を引き継ぎ、岡山県から業務を受託した岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体が実施しており、災害廃棄物量約12万7千tに対し、現在の処理量約10万5千t、進捗率82%とお聞きしています。共同企業体は、当協会の会員企業5社が中心となり組織運営しているところで、当協会としても可能な限り協力をしてまいりたいと考えています。

当協会は、今年も引き続き廃棄物の適正処理と資源循環を目指し研鑽を重ねるとともに、西日本豪雨災害での災害廃棄物処理業務の経験を踏まえ、さらなる地域貢献、社会貢献に努めてまいりたいと存じますますので、会員皆様のご理解とご協力、また関係各位のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

今年は役員改選の年です。現役員の任期も総会開催予定日の5月28日まで残り僅かとなりましたが、精いっぱい務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。会員皆様の益々のご盛栄、ご健勝をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



# より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向けて

岡山県環境文化部 部長 古南 篤子



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の環境文化行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、設立以来これまで、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る研修会の開催などの各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業や環境学習事業など、幅広く環境保全に関する活動に熱心に取り組まれており、深く敬意を表します。

また、平成30年7月の豪雨災害から、1年半を経過するところですが、災害で発生した廃棄物は、推計で約44万トンに上り、現在、発災後2年以内での処理完了を目指して処理を進めており、貴協会及び会員の皆様方にも多大な御協力をいただいていることに、心より御礼申し上げます。

さて、昨年5月には、地球規模でのプラスチックによる環境汚染に対応するため、国においてプラスチック資源循環戦略がとりまとめられ、今年4月には、改正廃棄物処理法により、一定規模以上の特別管理産業廃棄物排出事業者電子マニフェストの使用が義務化されるほか、改正フロン排出抑制法により、業務用冷凍空調機器を産業廃棄物等として引き取る際の冷媒であるフロン類の回収の確認が義務化されるなど、これまで以上に廃棄物の適正処理や循環型社会の形成が求められております。

県では、新岡山県環境基本計画に基づき、より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向けて取り組んできているところですが、目標達成のためには、行政機関のみならず、県民や事業者の取組も重要であり、とりわけ、豊富な経験や人材を有する貴協会と会員の皆様方の御協力が不可欠でありますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今後とも地域に密着した環境保全の取組がより一層推進されますことを御期待申し上げますとともに、貴協会と会員の皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶 ～環境負荷の少ない持続可能なまちづくり～

岡山市環境局長 門田 和宏



皆様には、輝かしい令和2年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

今年は子年。干支の一番目です。子(ねずみ)で思い起こされるものと言えば、ミッキーマウスとミニーマウス、ねずみ男やピカチュウなど、かわいらしさや、親しみやすさがあるキャラクターです。一方、十二支の子年に込められた子(ねずみ)は、「子孫繁栄」の象徴を意味し、特に白ねずみは、福

徳の神、大黒天の使いとされています。

今年は、東京でオリンピックが開催されます。何か大きな転換期を迎える年になるのかもしれません。子(ねずみ)にあやかり、今年が大いに発展することを期待します。

さて、去年は、日本列島に相次いで台風が襲来しましたが、中でも台風19号の記録的な豪雨は、東海から東北にかけての広い範囲で、各地に甚大な被害を引き起こしました。また、一昨年、平成30年7月豪雨により、岡山をはじめ西日本を中心に広い範囲で大きな被害が発生しました。

近年、地球温暖化に伴う巨大台風の出現、大雨の頻度の増加や、熱中症リスクの増加など、気候変動及びその影響が全国的に現れており、世界的にも異常気象が頻発しています。こうした事態に対応するための地球温暖化防止の国際的な枠組みとして、2015年のCOP21で採択されたパリ協定が、いよいよ今年から運用開始されます。先進国も発展途上国も参加するこの新たな枠組みの中で、人類が英知を結集して取り組み、希望の持てる未来を切り拓いていかなければなりません。

こうした状況の中、岡山市では、市民一人ひとりが地球環境に配慮した行動を実践し、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを進め、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継いでいくため、環境分野の将来像として「豊かな自然と調和した持続可能なまち 岡山」の実現を目指しています。

具体的な施策として、低炭素社会の構築に向けては、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や、次世代エネルギーである水素の利活用を推進しており、去年は公用車として燃料電池自動車を導入しました。

新年度は、最新の状況を踏まえて、「岡山市地球温暖化対策実行計画」を改定するとともに、気候変動に起因する、生活、社会、経済及び自然環境への被害防止や軽減に対応する施策を推進するための「岡山市地域気候変動適応計画」を策定することとしています。

循環型社会の構築に向けては、近年問題となっているプラスチックごみ削減に向けた取り組み、食品ロス問題に対する意識啓発、事業系厨芥類のリサイクルに向けた取り組み等を推進していきます。

最後になりますが、今年こそは災害がなく、環境行政が大いに進展することを期待するとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

# 新年のごあいさつ

倉敷市環境リサイクル局 局長 三宅 幸夫



令和2年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会におかれましては、産業廃棄物の適正処理やリサイクルの推進はもとより、業界関係者の指導・育成や産業廃棄物に関する知識の普及・啓発などの様々な活動を通じて循環型社会の形成の推進に御尽力されており、心から敬意を表します。また、貴協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年(令和元年)の5月1日に元号が平成から令和となり、新しい時代の幕開けとなりました。しかし、新元号となり日本中が祝賀ムードとなっていたのも束の間、9月から10月にかけて相次いで襲来した台風が東日本の広い範囲で甚大な被害をもたらし、多量の災害廃棄物が発生しました。本市では平成30年7月豪雨で多大な支援を受けたことに少しでも報いるため、職員派遣や、災害査定事務の支援など被災地の復興に助力しております。一方、平成30年7月豪雨によって、本市で発生した多量の災害廃棄物の処理についても、貴協会並びに会員の皆様、岡山県の御支援を受けながら、令和2年度内の処理完了を目指しているところです。災害廃棄物の処理に関しては、令和元年12月末時点で発生推計量約35万トンに対し、約29万4千トンの処理が完了しており、処理進捗率は84.0%となっております。今後も、本市の復興のため貴協会並びに会員の皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

話は変わりますが、高濃度PCB廃棄物の処理について、本市も含まれる北九州事業エリアでは高濃度PCB廃棄物である安定器等の処理期限が令和3年3月31日に迫っており、昨年度から引き続いてPCB使用安定器の掘り起し調査を実施しております。調査対象は昭和52年3月以前に建設された居宅以外の建物となっており、アンケート調査を終え、現地調査を行っているところです。対象者等から貴協会並びに会員の皆様に対してお問い合わせがあった際には、本市の施策に是非御協力いただくようお願いいただければ幸いです。

本市の施策の推進、ひいては循環型社会の形成、さらには環境問題への対処のためには貴協会並びに会員の皆様方のお力添えが必要ですので、昨年に引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、並びに御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 令和2年年頭所感

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一



一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、地震、台風などの自然災害が相次ぎ発生し、全国各地に甚大な被害を及ぼしました。現在もお苦勞されている被災者の方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

また、中国や東南アジア諸国等の外国政府による使用済プラスチックの輸入禁止措置に伴い、廃プラスチックの国内滞留の問題がクローズアップされた年でもありました。この問題は、そもそも廃棄物ではなく、アジア諸国との間で取引されていた資源物扱いの使用済みプラスチックが、輸入禁止措置によって国内で廃棄物となってしまったことにより生じているものです。

廃棄物となってしまったプラスチックをいかにスムーズに国内処理するかという短期的な課題と、廃プラスチックを含めた産業廃棄物の資源循環体制をいかに構築していくかという中長期的な課題があるように思います。

これらの問題は、令和2年におきましても、引き続き対応すべき課題と考えております。特に災害については、災害廃棄物が法律上の一般廃棄物であるがゆえに、産業廃棄物処理業者の立場からは一部の災害廃棄物については産業廃棄物処理施設で円滑に受け入れる上で難がある一方で、被災地においては大きな災害であれば尚更のこと迅速な初動対応が強く求められるようになっていきます。

当連合会は、各都道府県協会とともに、災害廃棄物処理のための体制を整備してきたところですが、昨年9月に災害廃棄物委員会を設置し、さらに円滑かつ迅速に取り組むための検討を進めています。

資源循環体制の構築につきましては、ご承知の通り、一昨年11月に「資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」の大綱を公表し、我々の考えを打ち出しました。本大綱は、「循環型社会」や「低炭素社会」の形成に資するために業界振興を図るものであり、廃棄物から資源・エネルギーを創り出す事業者が多く登場するようになっている近年の業界動向を反映したものでございます。

奇しくも本年は、廃棄物処理法の制定50年を迎えます。廃棄物処理法の制定とともに誕生した我々業界は、この50年をへて、資源循環をテーマとする大きな転換期を迎えています。廃棄物処理法制定後の半世紀を振り返りつつ、次の半世紀に向けて、産業廃棄物に関する法制度の在り方を本格的に議論する時期に入ったのではないかと思います。

この大きな節目に当たる本年は、「産業廃棄物処理業務従事者の資格制度」の試行をスタートするとともに、「建設汚泥再生品等の利用促進」の仕組み作りを検討するなど、業界振興の方策を一つ一つ着実に具体化していきたいと考えています。皆様のご指導ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

結びに、この一年が皆様にとりまして、すばらしい年でありますようお祈り致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

# 特 集 災害廃棄物処理の現場から

## 平成30年7月豪雨災害に係る災害廃棄物処理業務の概要と処理現場での雑感

岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体

統括所長 岡野 英隆

(所属:株式会社西日本アチューマツクリーン)

県内24市町村に大雨特別警報が発令されるなど記録的な大雨により、岡山県では経験したことのない規模の災害となった平成30年7月豪雨災害。

この災害により、浸水被害が大きかった倉敷市真備地区では、国道486号沿道をはじめ、町中に災害廃棄物があふれるなど、県内での災害廃棄物発生量は約44万トンと推計されています。

災害廃棄物は、廃棄物処理法に基づく一般廃棄物であるため、各市町村が処理主体となって現在も処理が進められていますが、特に甚大な被害があった倉敷市及び総社市は、市単独での処理が困難であるため、地方自治法に基づき、災害廃棄物処理事務を岡山県に委託、岡山県が代行処理しています。

我々、岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体(OS-JV)は、岡山県産業廃棄物協会の会員5社を中心に14社で構成する共同企業体であり、岡山県から災害廃棄物処理業務を受託し、発災後2年間で処理完了するという使命を負い、災害廃棄物の適正処理に現在も格闘しているところです。

今回、災害廃棄物処理業務の概要や、OS-JVの処理現場での災害廃棄物の処理上の課題等、我々が感じたことについて、その一部ですが御紹介いたします。

## 1 岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体(OS-JV)の概要

### (1) 構 成

| 区 分                            | 会 社 名             | 所在地  | 備考   |
|--------------------------------|-------------------|------|------|
| 地元構成員                          | 株式会社西日本アチューマツクリーン | 岡山県  | 代表企業 |
|                                | 倉敷企業株式会社          |      |      |
|                                | 株式会社三好組           |      |      |
|                                | 株式会社高谷建設          |      |      |
|                                | 有限会社片岡久工務店        |      |      |
| 地元関連構成員<br>※県内に事業所を有する構成員      | J & T 環境株式会社      | 神奈川県 |      |
|                                | エコシステムジャパン株式会社    | 東京都  |      |
| その他構成員<br>※他大規模災害での処理経験を有する構成員 | 有価物回収協業組合石坂グループ   | 熊本県  |      |
|                                | 有限会社オー・エス収集センター   | 熊本県  |      |
|                                | 九州産廃株式会社          | 熊本県  |      |
|                                | 株式会社ダイセキ環境ソリューション | 愛知県  |      |
|                                | 株式会社タケエイ          | 東京都  |      |
|                                | 株式会社富山環境整備        | 富山県  |      |
|                                | 仙台環境開発株式会社        | 宮城県  |      |

## (2) 岡山県からの受託業務の概要

### ①業務内容

岡山県が、倉敷市及び総社市から事務受託した災害廃棄物処理業務

- ・一次仮置場（フラワーフィールド）の管理運営業務
- ・二次仮置場（水島処分場内）の管理運営業務（中間処理施設の設置・運営を含む。）

### ②処理対象量

318,812トン（一次仮置場：191,541トン、二次仮置場：127,271トン）

## 2 災害廃棄物処理業務の概要

### (1) 一次仮置場の管理運営業務

倉敷市が半壊以上の被災家屋を対象に実施する公費解体（費用償還する自費解体を含む。）で発生する家屋解体廃棄物専用の仮置場で、災害廃棄物の搬出入業務を担った。

当仮置場には、ピーク時で一日当たり430台程度の搬入車両（主に2～4トン車）があり、大量に搬入された廃棄物を種類ごとに県内外に100台以上に及ぶ大型車両で搬出していくことで、仮置場への搬入制限を行うことなく受入業務を継続できた。

（所在地）倉敷市玉島乙島地内

（面積）約2.6ヘクタール

（従事者）約35名（ピーク時）



施設全景



タイヤ洗浄の様子

### <主な業務内容>

|      |                                                                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受入業務 | 受入時の計量、廃棄物の種類ごとに保管                                                                                              |
| 搬出業務 | 廃棄物の種類ごとに処分先に搬出<br>・木くずやコンクリート殻などは再生利用できる処分先を選定<br>・混合廃棄物など中間処理が必要な物は、二次仮置場に搬出<br>・処分先は県内施設を優先、県内で処理が困難な場合は県外処理 |
| 環境対策 | 騒音・振動・アスベスト等のモニタリング、タイヤ洗浄など粉じん対策 等                                                                              |
| 火災対策 | 定期的な温度測定、適切な保管（高さ、危険物の除去）、早期搬出の徹底 等                                                                             |
| 害虫対策 | 定期的な薬剤散布（ハエ卵・幼虫対策）、トラップ設置（ハエ成虫対策）等                                                                              |

## <主な経緯>

- ～平成30年11月28日 岡山県産業廃棄物協会による管理運営
- 平成30年11月29日～ OS-JVによる管理運営開始
- 令和元年12月28日 災害廃棄物（家屋解体廃棄物）の受入終了
- 令和2年1月28日 災害廃棄物処理完了（全ての保管物の搬出完了）
- 令和2年3月末頃 原状回復完了（予定）

## （2）二次仮置場の管理運営業務

平成30年7月豪雨災害は、水害であったことから被災地では一気に片付けごみが発生し、国道486号沿道や井原線高架下をはじめ、あらゆる場所に災害廃棄物が山積みになり混合廃棄物化したが、一旦混合廃棄物化すると、そのままでは再生利用はおろか、焼却処理することも埋立処分することもできない。

このため、このたびの倉敷市と総社市の災害廃棄物の処理においては、処分に向け処理（破碎・選別処理）するための二次仮置場が設置され、OS-JVでは、両市の一次仮置場からの搬入や保管廃棄物の管理、中間処理施設の設置や運営、中間処理後物の搬出管理等を現在も担っている。

（所在地）倉敷市水島川崎通地内

（面積）約11ヘクタール

（従事者）約80名（ピーク時）



施設全景



一次選別処理施設



二次選別処理（手選別）状況



廃棄物の温度管理状況

＜主な業務内容＞

|      |                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受入業務 | 受入時の計量、保管                                                                                                             |
| 中間処理 | 破砕・選別処理可能な中間処理施設の整備、処分先の受入基準に適合するよう中間処理                                                                               |
| 搬出業務 | 中間処理後物は、種類ごとに処分先に搬出<br>・できる限り再生利用できる処分先を選定し、再生利用できない廃棄物に限り埋立処分<br>・処分先は、県内施設を優先、県内で処理できない場合には県外処理                     |
| 環境対策 | 騒音・振動・アスベスト等のモニタリング 等                                                                                                 |
| 火災対策 | 適切な保管（高さ、ガス抜管の設置等）、温度計測（定期計測、センサー自動計測等）、高温箇所への的確かつ迅速な対処（放熱促進、原因物質の除去、重点監視等）、初期消火体制の構築（関係機関との緊急連絡網の策定、防火水槽・消防ポンプの整備 等） |
| 害虫対策 | 定期的な薬剤散布（ハエ卵・幼虫対策）、トラップ設置（ハエ成虫対策）等                                                                                    |

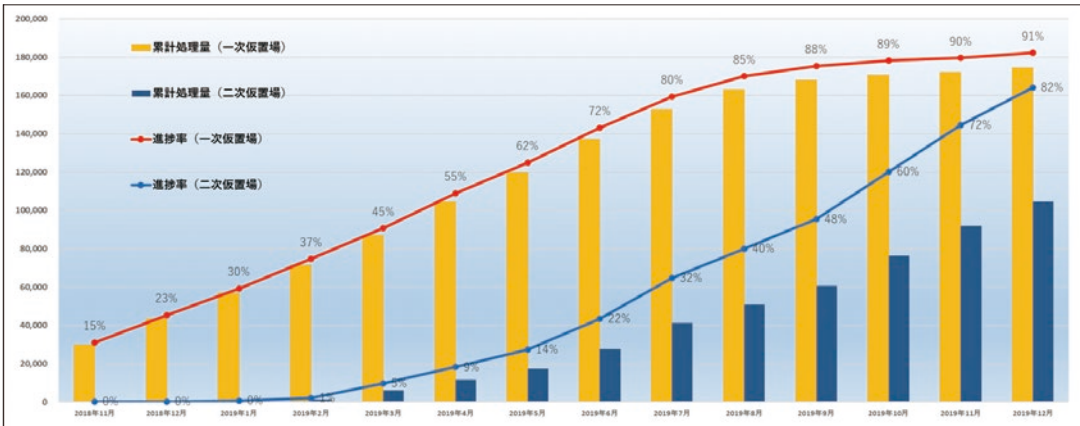
＜主な経緯＞

|              |                        |
|--------------|------------------------|
| ～平成30年11月28日 | 岡山県産業廃棄物協会による管理運営      |
| 平成30年11月29日～ | O S - J Vによる管理運営開始     |
| 平成30年12月 6 日 | 中間処理施設設置工事着工           |
| 平成31年 1 月31日 | 中間処理施設試運転（無負荷運転）       |
| 2 月 7 日      | 〃 （負荷運転）※ 8 日までの 2 日間  |
| 2 月15日       | 中間処理施設本格運転開始           |
| 令和 2 年 6 月末頃 | 災害廃棄物処理完了（全ての保管物の搬出完了） |
| 9 月末頃        | 岡山県環境保全事業団に仮置場用地の返還    |

3 処理進捗状況（令和元年12月末現在）

（単位：トン）

| 区 分   | 受 託 量   |         | 処理済量  | 処理進捗率 |
|-------|---------|---------|-------|-------|
|       |         | 倉敷市受託分  |       |       |
| 一次仮置場 | 191,541 | 191,541 | —     | 91%   |
| 二次仮置場 | 127,271 | 120,568 | 6,703 | 82%   |
| 計     | 318,812 | 312,109 | 6,703 | 88%   |



【一次仮置場】

受入業務は令和元年12月末で終了し、令和 2 年 1 月28日に全ての廃棄物の搬出完了（原状回復後、倉敷市に返還）

【二次仮置場】

移動式施設の導入、処理フローの改善、安定的な処分先の確保等により処理ペースアップを図り、令和 2 年 6 月末までに処理完了予定

## 4 災害廃棄物処理業務を通じて抽出された課題等の雑感

### ▶ 粉じん対策の重要性

一次仮置場では、家屋解体のピーク時（平成31年3月頃）に、430台程度の搬入車両と100台以上の搬出車両が発生し、一日当たり2,000トンを超える廃棄物の取扱があった。

当初から、相当量の粉じんの発生は予見し、仮置場周辺の仮囲いの設置や車両走行部分へのアスファルト舗装や鉄板の敷設、道路及び廃棄物の積み下ろし区域への散水などを計画していたが、周辺事業場への粉じん影響の更なる低減化を目指し、湿式タイヤ洗浄設備の導入、作業員によるハイウォッシャーでのタイヤ洗浄などの徹底に加え、作業員全員が風向にも注意して作業を実施することで、最小化するよう努めた。

粉じん対策は施設整備も重要だが、作業過程での散水やタイヤ洗浄の徹底など、従事者全員が取組の必要性を理解し徹底していくことこそが重要であることを改めて痛感した。



保管廃棄物への散水



仮置場前面道路の洗浄

### ▶ 広域処理体制の構築の重要性

一次仮置場には大量の家屋解体廃棄物が搬入されるが、その中でも、大部分を占める木くずとがれき類（コンクリート殻）の処分先の確保が困難であった。

災害時には、いわゆる片付けごみや公費解体から発生する家屋解体廃棄物のほか、道路や河川などの復旧工事からも大量の産業廃棄物が発生し処分先が重複すること、特に木くずは木くずチップの流動性も低く、発災後すぐに県内業者の余裕は全くない状況であった。

仮置場に搬入物が溜まる一方でパンク寸前という状況もあったが、岡山県とも相談し、中国四国地方一円、遠くは大分県まで処分先を確保できた結果、仮置場の運営に支障を来すことはなかったが、平時から、県内のみならず広域的な処理が可能となるような処理業者の把握が重要であると思われた。

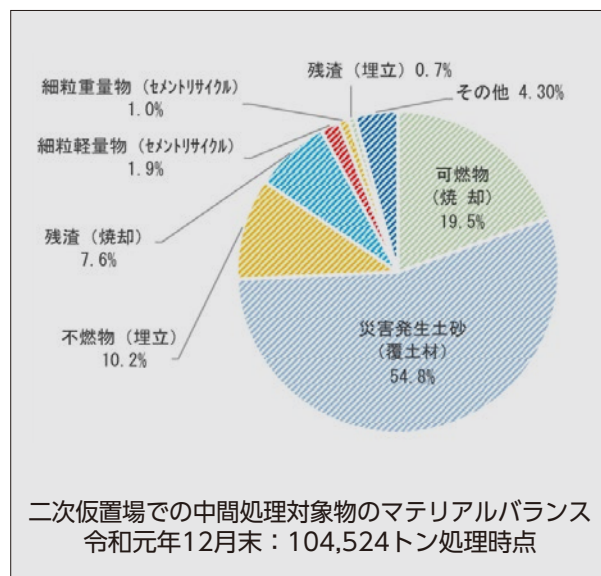


木くず保管状況

## ▶ 水害廃棄物の処理フロー構築の重要性

今回は水害で発生した災害廃棄物であるため、あらかじめ、土砂系の廃棄物が多いことや土砂等の付着が多い廃棄物もあると予想し、大型のトロンメル施設を整備するなど準備していたが、想定以上に全ての廃棄物への土砂付着量が多く、移動式施設（フィンガースクリーン2台・トロンメル1台）を追加導入し全ての廃棄物を対象に篩い処理した。

現状のマテリアルバランスでは、処理対象廃棄物の55%程度が土砂の見込みであるが、水害廃棄物は発生場所による性状のばらつきが多く、その時々々の廃棄物の性状に見合った処理を行う観点から、災害廃棄物の処理に当たっては、移動式中心の処理施設構成とすることも検討すべきと思われる。



フィンガースクリーン



移動式トロンメル

## ▶ 混合廃棄物処理における品質確保の重要性

混合廃棄物のうち可燃系は、市町村ごみ処理施設で焼却処理することが基本になるが、混合廃棄物を破砕・選別処理した可燃物の品質確保には困難を極めた。

土砂付着が多いことに起因する高灰分であることに加え、塩ビ製品やゴム製品などの選別困難物の混入により塩素分や硫黄分も高い傾向にあること、また、廃プラスチック類の混入比率も高く4,000kcal/kg程度の熱量があることも、廃プラスチック類の処理が停滞する昨今の市況から逆風である。

さらに、災害廃棄物は食器などで使用されてい



可燃物保管ヤード

た陶磁器くずの混入比率も高く、燃え殻をスラグ化するような施設では、このような不純物のわずかな混入でさえスラグ品質に影響を及ぼし処分先として適さない。

また、ごみ処理施設は地元地区と環境保全協定を締結しているケースが多いが、例えば、排ガス中の塩化水素濃度は法基準値が430ppmであるところ、協定値は30ppm程度である場合が多く、塩素分が高い傾向にある災害廃棄物を処理した場合、協定値を超過する懸念があることは盲点だった。

この点、産業廃棄物処理施設も活用しながら、複数の施設を確保した分散処理が有効になると思われるので処分先の選定において留意が必要である。

### ▶ 災害廃棄物保管体制（温度管理）の重要性

災害廃棄物、とりわけ混合廃棄物は様々な廃棄物が混合しており、バッテリーなどの危険物が混在しているほか、発酵熱の蓄熱などにより保管物の温度が高くなりやすく、火災の発生のおそれがあり、温度管理は極めて重要な業務となっている。

OS-JVでは、保管廃棄物の高温事象に対応するためのマニュアルを策定し、温度管理手法や高温部分の対処について定めるほか、火災発生時の延焼防止策としての保管廃棄物のブロック化、積上高さ3m以下の徹底、初期消火体制の整備などに取り組んでいる。



高温事象への対応①



高温事象への対応②



廃棄物のブロック化



消火訓練の実施

### ▶ 災害廃棄物処理業務受託者としての視察対応体制構築の重要性

災害発生時の災害廃棄物の処理については、行政はもとより災害廃棄物の処理の担い手となる廃棄物処理業者の関心も高く、実際の処理現場のフィールドを目の当たりにしてこそ現実感を持って有事の備えができるであろうことから、処理業務に忙殺されている中ではあるが、できるかぎり視察要望に応じており、岡山県とも協力しながら、令和元年12月末までに合計80件、1,160名を受け入

れた。

また、岡山県産業廃棄物協会が主催する親子ツアーの視察先として協力するほか、OS-JV自ら企画した親子環境学習ツアーも実施するなどして、次世代を担う子どもたちに災害廃棄物の処理現場を体感してもらい、災害への備えや災害時の行動、廃棄物処理について考える機会を創出してきた。

#### <親子環境学習ツアーの様子>



災害廃棄物処理について座学



中間処理施設の視察

## 5 おわりに

災害廃棄物処理は、単に廃棄物処理に関する技術があれば遂行できるかと言えばそうではなく、委託者である岡山県や、事務委託市である倉敷市や総社市はもちろんのこと、仮置場の土地所有者やその周辺の事業所や住民の皆さん、処分先の協力や理解が必要不可欠です。

その協力や理解が得られるか否かは、先を見越して、必要なことを抽出し、あらゆる関係者と調整や交渉できるかどうかで決まり、処理に費やす労力より大きなウェイトを占めます。

今回の災害廃棄物処理業務は、協会会員5社を中心とした共同企業体ですが、他の構成員の力や協会会員皆様の御協力を賜った結果として円滑に処理業務を遂行出来ているにすぎません。

あってはならないことですが、次の災害があったとすれば、その時には今回の経験や様々な方とのご縁を活かし、地元の復旧・復興に向け真に中心的に活躍できるよう尽力したいと決意している次第です。

発災後2年間での処理完了に向け、OS-JV一同、全力を尽くしてまいりますので、引き続き、協会の皆様の御協力をお願いしたいと存じます。

最後に、我々OS-JVの合言葉を御紹介します。ありがとうございました。

#### <OS-JVの合言葉>

災害廃棄物と今は呼ばれていても、発災前までは、被災者の皆さんの大切な家であり、家財であり、思い出の品々であったもの。

我々は、単にごみ処理を行うのではなく、皆さんの想いの詰まったものを、できる限り資源化して、処理期限までに処理完了し明るいニュースを被災地に届けることが、我々が復興に向けてできること。心を一つにがんばろう！

# 産廃の違法運搬を食い止める！ ～抜き打ち検査を実施しています～

## 1 取組の概要

岡山県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、産業廃棄物の適正処理や県外からの搬入抑制に一定の効果が上がっていると思われませんが、事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合、必要書類の点検等を行っています。

## 2 路上検査の結果

令和元年は路上検査を2回実施しており、第1回は岡山県単独で、第2回は岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施しました。

### (1) 第1回(5月27日～6月3日に県内3か所で実施)

|           | 岡山県 |
|-----------|-----|
| 停車指示車両数   | 35台 |
| うち産廃関係車両数 | 18台 |
| うち指導台数    | 2台  |

### (2) 第2回(10月16日～11月6日に岡山市及び倉敷市と時期を統一して県内5か所で実施)

|           | 岡山県 | 岡山市 | 倉敷市 | 合 計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 停車指示車両数   | 24台 | 12台 | 6台  | 42台 |
| うち産廃関係車両数 | 13台 | 10台 | 3台  | 26台 |
| うち指導台数    | 5台  | 4台  | 0台  | 9台  |

## 3 違反事項と対策

- 近年、特に多い違反事項は、**車両への表示不備、有効な許可証の写しの不携帯、マニフェストの不携帯や記載不備**ですが、すぐに改善できる内容ですので、この機会に確認をお願いします。
- **産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いこみ運搬するケース**も散見されますが、契約締結時等の機会を捉えて排出事業者から排出工程等を聞き、産業廃棄物担当窓口で確認すれば未然に防げる場合がありますので、こうした確認を徹底していただき法令違反となるような事態を回避してください。

産業廃棄物の不適正処理は、生活環境に大きな影響を与えかねない問題です。

岡山県では、引き続き年に数回、路上検査を実施し、  
産業廃棄物の適正処理の確保を図っていく必要があると考えています。

岡山県マスコット  
「ももっち」

岡山県からのお知らせ

# 循環資源マッチングシステムのご紹介です

岡山県マスコット  
「うらっち」

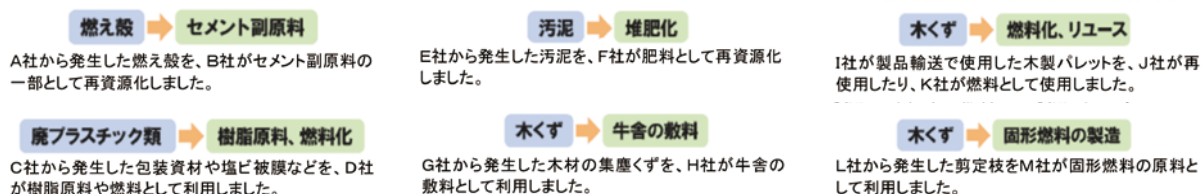
廃棄物等のうち、有用なものを循環資源といいます。

循環資源マッチングシステムは、循環資源の有効活用を促進するため、事業活動に伴って発生する循環資源を提供する事業者と、それを利用する事業者をマッチング（あっせん）するシステムです。

## ● 循環資源マッチングシステムの利用状況

現在のシステムは平成16年度から運用開始し、293件の事業者が本システムに登録し、これまでに50件以上のマッチングに成功しています。（令和元年12月1日現在）

### マッチング成功事例

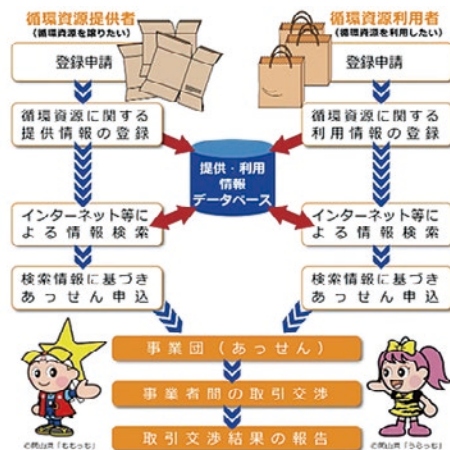


## ● 循環資源マッチングシステム利用方法

### 利用の流れ

- ①循環資源マッチングシステムHPからの会員登録か、郵送又はFAXでの会員登録（下記お問合せ先参照）
- ②循環資源マッチングシステムに事業者及び循環資源の情報を登録
- ③循環資源マッチングシステムで循環資源の情報を検索し、マッチングを希望する事業者とのあっせんで申込
- ④システム運営の仲介により交渉開始
- ⑤循環資源マッチングシステムに取引結果を報告

※登録・利用無料



図：循環資源マッチングシステムの流れ

循環資源マッチングシステムの積極的な御利用をお願いします！

※循環資源マッチングシステムは、岡山県循環型社会形成推進条例に基づき、岡山県が岡山県循環資源総合情報支援センターとして指定した、公益財団法人岡山県環境保全事業団が運営しています。

### お問合せ先

〒701-0212 岡山市南区内尾665-1

岡山県循環資源総合情報支援センター（公益財団法人岡山県環境保全事業団）

TEL:086-298-2122 FAX:086-298-2496

循環資源マッチングシステムホームページ：

[https://junkan.pref.okayama.jp/okayama\\_waste\\_navi/MA00020](https://junkan.pref.okayama.jp/okayama_waste_navi/MA00020)

# 業務用冷凍空調機器を引き取る際には、フロン類が回収されていることを確認してください

## 【フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）】

業務用冷凍空調機器に充填されているフロン類を大気に放出しないよう、適切に管理・廃棄することを義務付けています。

## 【フロン排出抑制法の改正】

フロン排出抑制法が改正され、**令和2年4月1日**から、**フロン類の回収が確認できない機器の引取りが禁止**されます。

対象となる機器の引取りを依頼された際に、**引取り可能なケースに該当しない場合は受け取りを拒否**してください。

なお、これに違反した場合は、**50万円以下の罰金**が科せられます。

## ○対象となる機器

業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうち、冷媒としてフロン類を使用しているもので、冷媒の保有機構を有する機器

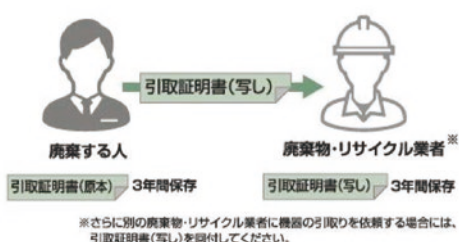


※カーエアコンは自動車リサイクル法、家庭用製品は家電リサイクル法の対象です。

## ○引取り可能なケース

- ① 「引取証明書（フロン類を回収した証明書）の写し」を受け取り、フロン類が回収済みであることを確認した場合
- ② 第一種フロン類充填回収業の登録を受けた者が機器の引き取りに併せて自らフロン類の回収をする場合

### ① 引取証明書を受け取った場合



### ② 自らフロン類を回収する場合



【問い合わせ先】 岡山県環境文化部環境企画課 086-226-7299

# 日帰り視察研修会レポート

## ～平成30年西日本豪雨災害の真備町被災地と 災害廃棄物処理現場を視察して～

令和1年10月3日、台風による風と雨が心配されたが、天候は回復し絶好の視察日和となった。岡山駅発着のバスに20名、倉敷駅発着のバスに30名の合計50名が参加し、昨年の西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた倉敷市真備町の被災地、玉島にある被災家屋の解体廃棄物仮置場、水島にある災害廃棄物処理場、また水島エコワークス(株)を視察した。

真備町被災地では、地元NPOの「箭田まちづくり推進協議会」の皆様、解体廃棄物仮置場及び災害廃棄物処理場では、協会の後を引き継ぎ県から業務を委託している「岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体」の皆様、また「水島エコワークス」では藤井社長以下社員の皆様には、案内役としてご協力をいただき心より御礼申し上げます。

### ○真備町被災地

説明会場となった「ライフタウンまび」で、協議会の片岡様から災害発生メカニズムと今後の活動について話を聞いた。

- ・120年前の決壊の教訓は生かされているのか。
- ・堤防の芝は強いが草は弱い。草刈りと芝張り。
- ・河川の公園化と付替え工事。嵩上げより浚渫。

協議会では、浚渫土砂による堤防強化とそこへの住宅移転事業を行政に要望している。

続いて、協議会の守屋様、片岡様がバスに添乗し、移動しながら被害の大きかった堤防決壊場所と高梁川合流地点を案内してくれた。道中、真備駅周辺の井原線高架橋には当時の水位を示す「オレンジライン」が協議会により記されていた。



### ○解体廃棄物仮置場



共同企業体の江頭所長から解体廃棄物処理の概要を聞いた後、バスで場内を移動しながら視察した。今年の9月以降、解体廃棄物の搬入は収束に向かっており、視察当日の保管量は少なかった。粉じんの飛散防止に細心の注意を図り運営しているとの話であった。

## ○災害廃棄物処理場(岡山県環境保全事業団水島処分場埋立跡地)

共同企業体の藏本代表があいさつした後、岡野所長から混合災害廃棄物の破碎選別処理について概要説明を受け、処理場内を見学して回った。

- ・前処理施設のトロンメル(回転ふるい機)
- ・一次処理施設の破碎機とバリオセパレーター(振動・風力ふるい機)
- ・細粒物選別機(20mmウレタンふるい機)
- ・二次処理施設の手選別ライン

手選選別ラインでは、機械で選別できないものを人の目で見えて手でより分けている。中には、写真や位牌など被災者の思い出の品もあり、大切にやり分け保管し、持ち主に返す取組も行なわれていた。

リサイクル率をどこまで上げるかが課題で、現在の進捗状況は約50%、来年6月を目途に処理を行うとのことであった。また、処理後の再生品や可燃物の引受先の確保に苦労しており、県外企業の協力も得ているとの話であった。



## ○水島エコワークス(株)

PFI事業(民間資金活用公共事業)として倉敷市の一般廃棄物と産業廃棄物を併せてガス化溶融処理している施設を視察した。最初に藤井社長から概要説明を受け、藤井社長と松井取締役の案内により場内を見学した。見学ルートの途中には、災害廃棄物コーナーを設けてあり、隣接する災害廃棄物処理場を紹介し同処理場の全景が見渡せる。

現在、水島エコワークスでは災害廃棄物の直接受入は行わず、倉敷市水島清掃工場の可燃ごみを受け、水島清掃工場が災害廃棄物を受け入れることで間接的な貢献をしている。



# 宿泊視察研修会レポート

ゼノー工具株式会社 平田 靖智

令和元年11月7日(木)から11月9日(土)の3日間で、参加者23名が富山、石川、岐阜の3県を回る視察研修をしてきました。

初日の工場視察では、鉄道車両や大型バスの再資源化に取り組まれている日本総合リサイクル株式会社様を見学させていただきました。

富山県高岡市の高岡東ICから富山湾に向って行くと広々とした工場に到着しました。敷地内に入ると綺麗な工場外観とその周辺に美しく管理された緑地帯が目に入ります。緑地帯エリアにある公園、パークゴルフ場、遊歩道などは地域の方々に開放されており、地域とのかかわりを大切にしていることに感心しました。

工場内を見学すると、そこでは自社で開発された「マルチ解体機」が大活躍しており、大きな車両を解体していくパワフルかつスピーディーなその姿をみると、月に100台もの鉄道車両の処理が可能なることを納得しました。また、工場内で作業をされる方と周辺環境への配慮から、多くの解体機が電気式であることにも感心しました。同じく工場内で活躍している大型車両を飲み込むように剪断する「スクラップ剪断機」は、特許を取得しており世界各国から注目されているそうです。

車両の再資源化率を伺うと、自動車では約99%、鉄道車両で約95%とのことで、私の想像していた以上の数字に驚かされました。内容は、アルミ、銅などの金属資源のほかに固形燃料へリサイクルされるそうです。

工場を見学後には、創業者である高倉可明会長のお話がありました。豊富産業グループ内の多くの企業を経営され、50年を超えるリサイクル(ものづくり)に対する取り組みについて貴重なお話を聞



くことができました。私も同じものづくりに携わる人間として常に新しいことへ挑戦する姿勢を持ち続けたいと思いました。私の勤務している会社は、直接リサイクルを行っていませんが粉碎の用途に使用される刃物を製造しており、今回の視察で得たヒントを事業に生かしていきたいと思います。

今回の視察研修会は天候にも恵まれ、立山黒部アルペンルートでは雲海が出現し大自然がおりなす幻想的な風景を目にすることができました。黒部ダム、白川郷などを訪問しましたが、素晴らしい時間を過ごすことができました。

我が国の発電は、天然ガス42%、石炭32%、石油9%、水力8%、新エネ7%、原子力2%と言われており、水力発電はその莫大な建設コストと水没による社会影響・環境影響等から黒部ダム以降増加していません。地球温暖化防止のパリ協定において石炭発電からの脱却が求められている今の日本において、維持コストが低くCO2排出のない自然エネルギーである水力発電をもっと見直していく必要があるのではないかと、あらためて感じました。

白川郷は、合掌造りの集落が今も実生活の場として使われているところに価値があるとして、1995年にユネスコの世界遺産に登録されました。しかし、世界遺産登録後、白川村には年間150万人を超える観光客が押し寄せ、自動車の通行や駐車場の問題、人が住んでいることへの配慮に欠けた観光客マナーの問題が生じています。また、観光以外何の産業もないこの過疎地で、2,000万円にも上る屋根の吹替工事を行い、後継者を育てていくのは本当に大変なことだと感じました。施設の保存ではなく、そこに住む人を支えるには何が必要か、何ができるのか、何をしなければならないのか…持続可能な社会形成の在り方をあらためて考えさせられる機会となりました。

最後に、視察を受け入れていただいた日本総合リサイクル株式会社の高倉康氏社長ほか社員の皆様に感謝するとともに、大塚会長をはじめ参加会員各社と事務局のご協力により無事、視察研修会が終了したことに感謝します。



# 第18回産業廃棄物と環境を考える 全国大会に参加して

～備北支部の理事 岩元博氏が環境大臣表彰を受賞～

令和1年11月15日、全国の産業廃棄物処理業者等550余名が神戸市に集い、「第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が開催され、当協会から会長以下10名が参加した。

主催団体を代表し(公社)全国産業資源循環連合の永井会長から開会挨拶があり、来賓の環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課の成田課長から災害への対応、資源循環に向けた対応を行う。業界として人材育成、安全衛生に取り組んでほしい旨の挨拶があり、続いて兵庫県の金沢副知事から2015年の国連サミットで人間、地球及び繁栄のための行動計画としてSDGsが採択されたが、環境問題は平和問題と同レベルの世界共通認識となった。業界の発展と活躍に期待する旨の挨拶があった。

環境大臣表彰では、循環型社会形成推進功労の産業廃棄物関係事業功労者23名が表彰され、当協会からは備北支部の理事の岩元博氏が受賞された。

基調講演では、「廃掃法施行50年の振り返りと今後の展望」と題し、上智大学法科大学院教授の北村氏より衛生法から環境法に変わり、処理業界も資源循環への転換、高い専門性の確保等が今後の課題である旨の講演があった。

パネルディスカッションでは、「廃プラ輸出からの脱却」と題し、国、県、事業者、処理業者の代表パネリストが意見交換した。

- ・短期的には既存施設を活用。市町村処理と民間処理。県外搬入規制の問題。
- ・中期的にはリサイクル施設の整備を進める。施設の技術開発、再生品の規格化、市場の確保。
- ・長期的には排出量削減に取り組む。マテリアルかサーマルかのリサイクル順位見直し。
- ・付着物、混合物の問題、小比重によるコスト問題や保管場所の問題。など

終わりに、コーディネーター役の(一社)兵庫県産業資源循環協会の東浦会長が、産業廃棄物処理業界はこれをビジネスチャンスとして捉え取り組むことが必要と括った。

来年は関東地域で開催される。



## 《e-L a d y 21のつどい》に 参加させていただいて ～三度目の正直～

エコシステム山陽株式会社

企画・管理課 有吉 利枝

【e-L a d y 21のつどい】(in兵庫県) 神戸開催に参加させていただきました。

昨年の仙台開催に不参加だった為、正直《私は今年も不参加じゃろう…》と悠長に構えていました。ところが、今回は研修の一環として【施設見学】ができるとのことのお話し。『見てみたいなあ』と…私の前向き思考のスイッチがONとなりました。

…という事で、一日目の施設見学では三木市の大栄環境株式会社さんにお邪魔させていただきました。関係会社への施設見学の経験はありましたが、同業他社様への施設見学は初体験ということもあり、どんな風に活躍されているのかとても気になりました。広さは 本当に広大で移動のバスの中から見ても見きれない程。

産廃事業を展開しているエリア、イオンと連携し生産活動しているエリア、最終処分場エリア、松の木など植樹されたエリアなど環境と地域に密着した事業所でした。こちらの事業所では特に「食品リサイクル」に力をそそいでおられると伺いました。

ニュースでよく見かける【食品ロス】の対策のひとつがここでも実践されており

①食品ロス➡②**たい肥生産**➡③**野菜栽培**➡④イオンで販売

というようにリサイクルの仕組みが事業所敷地内で効率よく回っていて理想的な所でした。この仕組みの始まりは、イオングループさんからの「どうにかならないか」との相談を受けてから始まった事業と聞きました。なんというフットワークの良さでしょうか。言われてすぐにできるような事ではないと思いませんか？【なんとかできる！やれる！】という挑戦心というか個人的にカッコイイ！と思ってしまいました。そして、食品ロスをたい肥に変えるその施設を見学させていただきました。畑やビニールハウスが連なる一角に施設はあり、木立を挟んでオートバックスの配送拠点が隣接しているという立地。民家も近くにあり、臭気に対する対策も万全。設備のシャッターが閉まった状態ならば建物の周囲に臭いはもれていませんでした。施設に関する費用も教えていただきましたが、かなりの額です(相当な額です！)。儲けるためにやっている事業ではなく、自分たちが暮らす地球の為・みんなの為に必要な取組みだと副所長さんは胸を張っておっしゃっておられました。

広いのは、敷地だけではなく「想い=環境づくり」に向ける【心】なんですね。良い勉強をさせていただきました。

二日目の講演会では、徳島県上勝町で展開されている【ゼロ・ウェイスト運動】について「焼却・埋立てごみゼロ」を目指すNPO法人の坂野理事長さんのお話を伺いました。約800世帯、1580人が暮らす上勝町、知らない町…聞いてビックリ！日本のみならず、世界が注目する凄いことをやってのけ

た町なのです。道のりは、険しいけれど『やって出来ない』事じゃない…やり方を流動的に変化をもたせながら継続的にきめ細かくやって行けば出来ないことはないと言った活動。

- ・日本で初めて「ゼロ・ウェイスト宣言」をした徳島県上勝町
- ・ごみを13品目45分別して、2016年度にはリサイクル率81%
- ・ごみステーションが地域交流の拠点となっている

この活動が始まった当初は、やはり誰もが否定的でマイナス思考だったそうです。

町役場を巻きこみ、ごみの分別活動は、粘り強く対応し時間をかけて理解してもらうなど、当初19分別→25分別→34分別→45分別へ（HPにて確認）。19分別がクリア出来たら、次は更に細かく25分別へ…というようにステップアップ方式で45分別までの分別を達成されたそうです。これ自体が本当にすごい事だと思いませんか？そして今では、小学4年生の環境授業ではごみ処理場を見学するだけではなく子供達の興味をそそる【カードゲーム】を使って遊びながらごみの分別を勉強している段階まで進んでいるとか。もう、次の世代へと活動は広がり根付いている町なのですね。住民の中には、自動車に乗れない、身体の不自由な方もおられますがそういった方々へのサポート体制もきちんと考えられ、民生委員さんも巻きこみ町全体で活動されているとのこと。粗大ごみについてのリサイクルも町の中で行われているそうで、本当にいらない・使えないモノだけが粗大ごみとして処分されているという徹底ぶりです。もちろん、上勝町も過疎化が進んでいる町とのことですがごみステーションがみんなの憩いの場となり、明るい笑い声がきこえてくる町になったそうです。「あそこに行けばいつでも誰かと話せる」…24時間いつでもごみを持って行って良いそうです。そこは、私の暮らす地域とは違い【おおらか】。

でも、よくよく考えたら、そう出来るのもみんなが決めたルールをきちんと守っているからできる事なのですよ。素晴らしいですね。

この取組みに賛同共感する人の移住やIターン・Uターンも増えつつあるとか…

テレビの番組で拝見しました。上勝町の町づくりの原点は「知恵を出し合う」という事、知恵を集めることが、暮らしを良くし、町を良くするのだと…自分達が暮らす町だからこそ自分達で守り、発展させる（塾ができる・新しい産業が生まれる等）。

町の44.4%が65歳以上の高齢者と聞きましたが、活気にあふれたイキイキとした暮らしがそこにあるのだと感じました。住民の方々の意識が序々に変わり、縦横の繋がりが強化され《継続から持続に変化し、習慣となり何か新しいモノを生み出すパワー》へと変革していった町、上勝町。

町の規模やいろいろなしがらみ等、簡単に真似ができるとは思えませんが今回この会に参加して、このような活動を知ることができて良かったと感じています。

次、参加できるかはわかりませんが…また、勉強をさせていただく機会があればとても有難いことだと思います。今回、企画していただいた兵庫県女性部の皆様 本当にお世話になり、ありがとうございました。



岡山西  
支部岡山中央  
支部

# 岡山西支部・岡山中央支部 合同環境クリーン作戦

**実施日時** 令和元年11月5日(火) 8:00~11:00

**実施場所** 岡山市南区宮浦地内金甲山、貝殻山周辺

**参加人数** 120名(地元議員、行政職員、地元町内会、会員)

令和になって最初のクリーン作戦は、例年同様に岡山西支部と岡山中央支部との合同にて、岡山市南区金甲山及び貝殻山周辺の清掃活動を行いました。

当日は天気にも恵まれ、関係行政職員を始め、小林孝一郎県議、江田厚志市議、地元町内会などから多数のご参加を頂き、120名にて清掃活動を行いました。

ここ数年は同様の場所を行ってごみ量が減少傾向にありました。そのため、参加して下さっている方も、事前にロープ等を用意して下さい、山の斜面を中心に収集を行いました。



斜面の下には大きな粗大ごみは少ない一方で、液体が入ったままの缶など処理が困難とされるような廃棄物が今年は多く目立ちました。またタイヤや鉄くずのような産業廃棄物も多くあり、私達組合の活動をもっと外部に発信し、そういった方がゼロになるように、努めていくことも大切だと感じました。



今年も多くの方々に収集車を用意頂き、収集量は例年を上回る約18トンもの不法投棄された廃棄物を収集することが出来ました。(一昨 years が約15トン、昨年が約10トンでした)皆様が作業範囲を広げて頂いた結果もあると思いますが、近年では最も多くの収集量となり、未だに不法投棄をされる方がいらっしゃることに寂しさを覚える結果となりました。

ご参加下さった多くの皆様、本当にありがとうございました。これからも不法投棄ゼロに向けて、ご協力を宜しくお願い致します。

# 倉敷

支部

## 第25回 倉敷地域環境クリーン作戦

**実施日** 令和元年11月26日水曜日

**場所** 都窪郡早島町矢尾地区

**参加者** 34名 会員 33名

会員外 1名(早島町役場町民課担当職員)

**看板設置**

3ヵ所

今年度も、非常にありがたいことに(立て看板による不法投棄再発防止啓発の効果!?)、実施場所を決めるのに苦労しました。

それでも、下見調査の結果、早島町矢尾地内で、冷蔵庫やタイヤの不法投棄されていることを確認し町役場担当者の方と協議の結果、同地区に決定し実施いたしました。

当日は晴天に恵まれ、町営のグランドゴルフ駐車場に集合し井上支部長、町役場担当者様の挨拶に始まり、作業説明を行い、2班に分かれ、班ごとに作業指示者のもと作業を開始しました。

当初は、不法投棄されている廃棄物量は少ないと予想していましたが、いざ始めると落ち葉の下から、ガラスくず、瓦くずなどが予想に反して出てきました。

会員皆様のご協力により、作業はスムーズに運び分別の後、藤井副会長の挨拶で本日の作業は予定時間内に怪我もなく無事終了しました。



「会員の皆さんいつもご協力ありがとうございます。」



倉敷南  
支部

## 倉敷南支部環境クリーン作戦

**実施日** 令和1年11月23日(土)  
**実施場所** 倉敷市児島 鷺羽山スカイライン周辺  
**参加人数** 会員84名(18社)

今年は倉敷市鷺羽山スカイライン周辺のクリーン作戦を実施致しました。

天候良くクリーン作戦日和となりました。

会員各社84名の皆様に参加していただきました。

今年の回収場所は雑木林で、斜面での作業となりました。

回収物の種類は、ベッド、テレビ等の家具のように大きなものから空き缶、ペットボトルのような小さなものまで多種にわたりました。

回収後、例年通り不法投棄禁止の立て看板を新たに設置し終了しました。

参加くださいました支部会員並びに、関係者の皆様の御協力有難うございました。



## 井笠

支部

## 井笠支部クリーン作戦

本年度のクリーン作戦は、備中県民局建設部の協力を得て、井原市芳井町内の道路沿いの投棄場所のゴミの撤去作業を行いました。1か所目所目は芳井町片塚地内の県道297号線沿いの投棄場所、2か所目は芳井町宇戸地内の国道313号線沿いの投棄場所を行いました。

投棄物は粗大ゴミが多く、「こんな山奥によく捨てて来たものだ」、「同じ捨てるなら取りやすい所に捨て行ってほしいなあ…」とため息が出ました。本当は「捨てないでほしい」なのですが、作業をしているとツイツイ口ずさんでしまいます。

きれいにした場所に投棄防止の立看板を立てて作業は午前中に終了しました。

作業に参加いただいた会員及び関係期間の皆様、大変お疲れさまでした。

**実施日時** 令和1年10月29日（火）9：00～12：00

**実施場所** 井原市芳井町片塚地内県道297号線、同市同町宇戸地内国道313号線

**参加者数** 備中県民局建設部5名、井原市1名、会員22名（合計28名）

**使用車両** 8台

**回収ごみ** 粗大ごみ、廃家電など約2t



備北  
支部

# 備北支部 高梁地域環境クリーン作戦

クリーン作戦は2019年10月19日（土）に行われました。作戦当日は雨でかっぱを着ての清掃作業となりました。昨年は7月豪雨災害のため高梁でのクリーン作戦は2年ぶりとなりました。

高梁市主催の「環境フェア in たかはし2019」に合わせた高梁川流域のクリーン作戦でした。高梁市・高梁市教育委員会・高梁市環境衛生協議会、岡山県内水面漁協同組合連合会、高梁川漁業協同組合、成羽川漁業協同組合、高梁川流域連名、市内の小学生などすべての人が参加しての作業で協会員併せて約150名での作業となりました。

今回も協会員は備北支部クリーン作戦用の青ジャンパーを着用での参加でした。

産廃協会員の参加者は7社14名と大勢の協会員に参加いただきました。このジャンパーのおかげで雨の中でも誰がどこにいるのか一目瞭然で艶やから青色ジャンパーが協会員の参加をさり気なくアピールすることも出来ました。



収集エリアは落合橋から方谷橋の高梁川沿いの高梁川流域の川沿で行われました。川沿いは参加の小学生が捻挫をするほど川原の石が丸いため足場が不安定でしたが、大きな事故もなく無事、午前中に終了しました。拾ったゴミは空き缶、コンビニ弁当などの可燃物が約200キロほどでしたがプラゴミが多く、今の時代を象徴しているのを感じました。不燃物も約100キロほどありましたがあっという間に用意したトラック、パッカー車に

一杯となりました。昨年に引き続き今年も今回参加人数が多くまた参加者の皆さんの手際のよい作業のためあっという間に川沿いはきれいになりました。

この高梁市主催の高梁川流域のクリーン作戦は毎年行われますので協会も引き続き参加させてもらうようにしていきたいと思います。今回は地域の人々の協力のもと事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



津山

支部

# 第25回津山支部 環境クリーン作戦

**実施日時** 2019年11月13日（水） 9：00～12：20

**実施場所** ①真庭市蒜山下徳山567番地 ②新庄村1683－2番地

**参加人数** 40名（会員27名、美作県民局5名、真庭市3名、新庄村5名）

**回収量** 計1.32t（可燃物、不燃物、古タイヤ、スクラップ等）及び廃家電等大型品

今年の津山支部環境クリーン作戦は真庭市と新庄村の2ヶ所で行いました。今までと異なり場所が大きく離れていたのので二手に分かれての作業となりましたが、皆様のご協力のおかげでスムーズに作業を進めることができました。

真庭市の方は、下調べの時点ではそこまで不法投棄物の量が無いと考えていたのですが、実際に作業を進めると地面の下から大量のゴミが際限なく出てきました。ビン、缶、衣類、廃家電、そして古タイヤといったものがまるで地層のように折り重なっている状態で、かなり前から不法投棄が続いていたことが推測できました。分別も細かく行う必要があったので道路脇まで回収物を引き上げるチームと、引き上げた回収物を分別するチームに分かれて作業を進めました。また、大型の物は会員にご協力頂いたユニックやヒアブを使用し、無理をせず安全に回収作業を進めることができました。



新庄村の方は、新庄村役場から伸びる出雲街道沿い約1.5キロにわたり車両からポイ捨てされたであろうゴミを回収して回りました。新庄村の住民の方が普段の清掃活動では難しい崖下や斜面などを中心に作業を行いました。始めた時はそこまでゴミがないな、と思いながら作業を行っていましたが、最後にまとめてみると1m<sup>3</sup>のフレコンが2つ一杯になる程の可燃、不燃ゴミが集まり「ポイ捨てゴミだけでここまでなるのか」と衝撃を受けました。また、量は少ないですが車のバンパーやガスボンベなどもありました。作業については県道沿いということもあり、車両の往来が激しく危険な環境ではありましたが、専属の誘導員を雇い、こちらも最後まで安全に作業を進めることができました。



この日に回収したゴミは、真庭市や会員各社からご協力頂いた車両に載せ、二度とこの地に不法投棄を起こさせないよう願いを込めて看板を打ち立て、12時20分頃に作戦は終了しました。

来たときはゴミ捨て場と化した山林でしたが、元の美しい自然に戻すことが出来ました。作業終了後は集合場所近くの「白樺の丘」付近で昼食をとりました。そこは蒜山高原を一望することができる場所であり、「なぜこのような場所に不法投棄をしてしまうのだろう。」と悲しい気持ちになりました。不法投棄をすれば、一時的にはゴミが手元から離れますが、結果的に山中や海などを汚染し、私たちに悪影響として跳ね返ってきます。今後不法投棄がなくなり、すべてのゴミが適切な方法で処理されることを強く願います。

ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。

# 全産連中国ブロック青年部協議会 活動レポート

中国ブロック青年部では、今年より山陽3県隣県交流会（岡山・広島・山口）を実施する運びとなり、令和元年8月30日、西日本豪雨災害で被害を受けた広島県呉市にて(株)こっこ様が運営する災害廃棄物処理施設を見学に行きました。

面積50,000㎡の広大な敷地の中には効率的な処理を可能にする設備や重機が数多く配置され、迅速に処理が行われている姿に感心を受けました。

また、処理施設での処理予定数量は約70,000トンに上ると聞き、その被害の甚大さに処理を実施していく大変さを改めて痛感致しました。

処理施設見学後は、(株)こっこ様の本社事務所にて災害廃棄物処理における説明を頂いた後、3県合同のディスカッションを開催し労働安全に関する情報交換や次会第2回目となる隣県交流会の内容を話し合いその後広島市内にて懇親会を開催し3県で交流を深めました。今後、隣県交流会は年1回の開催を予定しております。

他県の皆様が抱える問題や対策、知識や技術など視野を広げる良い機会となりますので、青年部会員の皆さま是非ともご参加下さい。



# 全国産業資源循環連合会青年部会協議会 第10回 カンファレンスIN神戸

全国産業資源循環連合会青年部会協議会は令和元年11月14日に兵庫県神戸市のANAクラウンプラザホテル神戸で「第10回カンファレンス」を開催しました。

ディスカッションの内容は「47都道府県の青年部会長が何を考えどのような未来を描いているか」「全国幹事会に期待すること」の2つのテーマで行われました。

各都道府県の部会長がそれぞれの想いを語り、様々な活発な意見が出てきました。その中で「全国幹事会に期待すること」では「各地の災害状況の情報の共有」「各省庁と連携して全国レベルで業界のイメージアップをする」などの意見も出てきました。

ディスカッション終了後の講評では蔵本監事よりお言葉を頂きました。



## 青年部会員募集中

～ネットワークの構築・自己啓発・次世代の育成～

青年部会は、会員の相互交流を図りながら、今後の廃棄物処理事業を見据えた各種研修事業や環境学習等の広報啓発活動などに取り組んでいます。

現在の会員は約45名で年々減少傾向にあります。

対象は、協会会員及びその社員で、50歳以下の男女となっていますので、是非この機会に青年部会への入会をご検討ください。

お問合せは、協会事務局までお願いします。

# 全国産業安全衛生大会in京都に参加して

労働安全衛生委員会 副委員長

山陽興産(株) 大本

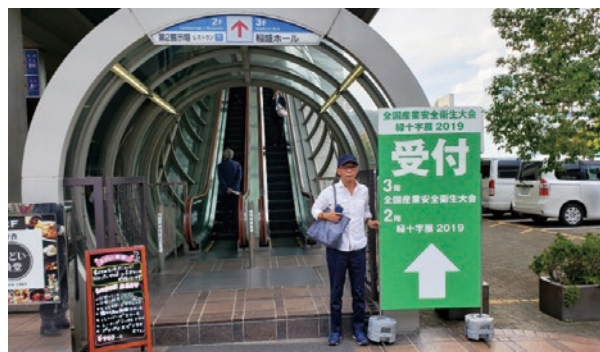
2019年10月23日から3日間開催された「全国産業安全衛生大会in京都」に内海産業(株)松本社長と参加してきました。京都市で3日間開催され、約12100名の参加があったとのことでした。

当日は、天気がよく、会場についたのは13時30分頃でした。労働安全衛生に対する関心が高まっているのかどのセミナーも満席に近い状態でした。満席のためセミナー参加を諦め、京都パルスプラザに移動して緑十字展を視察することにしました。

緑十字展は職場の安全・健康・快適にかかる機械・器具の展示会です。各社ブースで多かった展示は、近年の温暖化の影響か熱中症対策グッズと法律改正に伴う墜落防止フルハーネス器具でした。熱中症対策グッズとしては最新の空調服、現場ですぐ飲める塩分補充用飲料水などのかなり改良され使いやすくなっていました。驚いたことにどの器具もファッショナブル化されていました。安全靴等もスポーツメーカーが参入してきており街なかでも履いていてもおかしくないデザインとなっていました。

また目新しいところでは、vrを活用した労働災害バーチャル体験などがあり、実際に災害が起きる現場を体験できるようになっていて、何が作業現場で労働災害の原因なのかが具体的にわかるようになっていました。時代の進歩を感じさせられました。

2020年は札幌で全国産業安全衛生大会が開催されますが、緑十字展の災害グッズは見る価値があります。来年も参加したいと思いました。



# あなたの街のリサイクルリングハブ (有)フクイクリーン

会社名 有限会社フクイクリーン

本 社 岡山県美作市榑原下145

代表者 福井 太郎

TEL 0868-72-1119 FAX 0868-73-0455

許可 産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬、  
特別管理産業廃棄物収集運搬

許可番号 第03329012775、第03319012775、第03359012775

事業内容 産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、家屋解体業

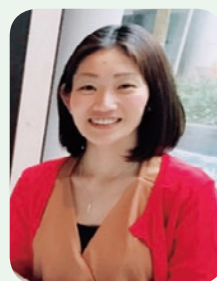


## 【スタッフ紹介】

**名前:** 上杉 有梨

**趣味:** 旅行、温泉、神社仏閣巡り、ドライブ、ゴルフ、グルメ、女子会

**好きな言葉:** 「一期一会」 **将来の夢:** 世界一周旅行



### 主な業務内容はなんですか？

企画、営業、総務全般、たまに作業、大型トラックでの引取や処分場へ持込などを行っています。以前は教職員として教育や安全運転指導に携わっていました。今は異業種ではありませんが、前職で長年学んだ教養と知識を活かしています。

### 得意な分野はなんですか？

球技スポーツ全般です。学生の頃からサッカーをしており、体力には自信があります。

### 仕事をしていく中で、やりがいを感じる時はどんな時ですか？

企業へ引取で伺った際、担当者様から「いつも、ありがとうございます。フクイさんに来ていただけて助かります。」などのお声を聞いた時はとても嬉しいです。また、荷物の分別や引取の際、いろいろな種類の廃棄物に携わることが出来て、毎日が勉強です。

### フクイの良いところはどこでしょうか？

創立50年を迎えましたが、お客様からの「処理に困っている」などの相談に様々な角度から提案させていただき、解決に導いて喜ばれている地域密着なところですよ。

### 今後の目標を教えてください。

お客様から「助かりました」「ありがとうございます」の声を一件でも多くいただくこと。

情報交換や交流の場を設けて、さまざま分野でのハブを目指しております。

Eメールアドレス

fukuiclean@ion.ocn.ne.jp

# (公社)全国産業資源循環連合会 中国地域協議会報告 ～中国・四国9県協会の交流を図る～

令和1年10月29日、岡山市で(公社)全国産業資源循環連合会中国地域協議会が開催されました。今回は、中国ブロック5県と四国ブロック4県の交流会として開催し、各県協会から正副会長及び事務局の総勢41名が参集し、災害廃棄物をテーマに情報交換、意見交換等を行いました。来賓として(公社)全国産業資源循環連合会の永井会長、全国産業資源循環連合会政治連盟の國中理事長等のご臨席をいただき、当協会からは大塚会長、泉副会長、高谷副会長、寺門副会長及び岩本事務局長が出席しました。

西日本豪雨災害の事例報告では、広島県、愛媛県及び岡山県の3県協会から対応状況の報告がありました。当協会の発表では、今年の総会の講演会で使用した当協会で作成した災害DVDを上映したところ、他県協会から「良い災害対応記録ビデオ」として好評を得ました。

また、四国地域協議会から災害時における4県協会の相互応援協定締結の報告があり、意見交換の場では、今後の広域連携について、ブロック内の連携はもとより、中国・四国ブロックでの連携も必要との声がありました。

そして、中国地域協議会・四国地域協議会の交流会を、次回は四国ブロックで行うことを確認し合い、会議を終え、続く懇親会で親睦を深め閉会しました。



## ☆紙manifestoの購入価格にご注意ください!

令和1年10月1日から消費税増税に伴い紙manifestoの販売価格が変更しています。

変更したのは(公社)全国産業資源循環連合会発行の「産業廃棄物manifesto」です。

直行用7枚綴り 単票 100部 2,500円⇒ 2,600円

// 連続票500部 12,500円⇒13,000円

積替用8枚綴り 単票 100部 2,500円⇒ 2,600円

// 連続票500部 12,500円⇒13,000円

建設六団体副産物対策協議会発行の「建設系廃棄物manifesto」及び(公財)岡山県環境保全事業団発行の「事業団manifesto」の販売価格は変更していません。

manifesto料金を口座振込により購入されるときは、変更前の料金を振り込まれた場合、不足分の追加振り込みをお願いすることとなりますのでご注意ください。

詳しくは協会ホームページをご覧ください。

## 研修会等の開催報告

### 優良認定手続き説明会

令和1年10月15日、協会会議室で優良産廃処理業者の認定に係る説明会を開催しました。会員16名が参加し、優良認定制度の概要、認定の手続き方法、エコアクション21認証登録手続き等について理解を深めました。

### 実務担当者研修会

令和1年10月24日、テクノサポート岡山で今年度1回目の実務担当者研修会を開催しました。会員38名が参加し、委託処理に係る法令の学習、委託契約書及び紙マニフェストの作成実習を行いました。この研修会は令和2年1月21日にも開催しました。

### 電子マニフェスト研修会

令和1年11月19日、テクノサポート岡山で電子マニフェストの導入、利用促進に係る研修会を開催しました。排出事業者79名が参加し、関係法令、導入・運営方法等について知識を深めました。



### 電子マニフェスト操作体験セミナー

令和1年11月21日、岡山県生涯学習センターで電子マニフェストのパソコンを使った操作体験のセミナーを開催しました。排出事業者20名が参加し、電子マニフェストデモシステムを利用して、排出事業者が行うマニフェストの作成・交付（登録）・処理状況確認の操作、収集運搬業者が行う運搬終了報告の操作、処分業者が行う処分終了報告及び最終処分終了報告の操作などを学びました。

このセミナーは、令和2年4月1日からの電子マニフェストの一部義務化（特別管理産業廃棄物を年間50以上排出する事業所が電子義務付け）に向け、排出事業者及び会員とも参加希望者が多く、9月から1月にかけて合計6回開催しました。

## 新入会員の紹介

中間処理 岡山中央支部

**山陽金属鋼業**

代表者 片岡 悟

〒701-1225

岡山市北区福谷 363

電話 086-284-5281

FAX 086-284-6943

## 立山（たてやま）から望む雲海



視察研修で立山黒部アルペンルートに訪れたとき、前夜の雨が上がり眼下には雲海が広がっていました。雲海の中に白山（はくさん）の頂が顔を出し、雄大な自然のパノラマとその神秘性に心を洗われました。白山は、石川県白山市と岐阜県大野郡白川村にまたがる標高2,702mの活火山で、富士山、立山と共に日本三霊山のひとつとされています。

## 編集後記

年末を控えて今年を振り返ってみると気候変動の影響か、例年にも増して自然災害が多かったように思います。災害を受けた者として、また廃棄物の仕事に携わっている者としては、災害ゴミの処理について心配をしてしまいます。2020年は、自然災害がおこらないことを祈るだけです。

(0.0)

## 会報・クリーン岡山 第60号

令和2年1月31日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

## 株式会社 高谷建設

代表取締役 高谷 耕治

〒七一一〇九三六

倉敷市児島柳田町二三二六―四

電話 ○八六―四七三―三六二四

FAX ○八六―四七二―六二七三

## 泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

〒七〇二一八〇一三

岡山市南区飽浦一二六

電話 ○八六―二六七―五三三三

FAX ○八六―二六七―五三三四

## タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚 雅司

〒七〇〇―〇九三五

岡山市北区神田町二―一―二五

電話 ○八六―二二四―三二九一

FAX ○八六―二二三―六三五四

## 内海産業株式会社

代表取締役 松本 俊成

〒七〇四―八一九五

岡山市東区西大寺金岡一三三〇―五

電話 ○八六―九四八―二一三七

FAX ○八六―九四八―四七六七

# 迎春



## エコシステム山陽株式会社

代表取締役 寺門 洋

〒七〇八―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一一二五

電話 ○八六八―六二―一三四六

FAX ○八六八―六二―一三四五

## 株式会社 野崎運輸機工

代表取締役 野崎 文夫

〒七〇四―八一九四

岡山市東区金岡東町二―一四―三三

電話 ○八六―九四二―三三八一

FAX ○八六―九四三―七九二七

## 野崎産業株式会社

代表取締役 野崎 剛正

〒七〇四―八一九四

岡山市東区金岡東町二―一四―三三

電話 ○八六―九四二―三六五一

FAX ○八六―九四三―七九二七

## 株式会社 石原工務店

代表取締役会長 石原 孝  
代表取締役社長 石原 彰二

〒七〇四―八一九三

岡山市東区金岡西町八〇―一―一

電話 ○八六―九四二―五一五一

FAX ○八六―九四二―一五九五

|                                                                                                                                 |                                                                                                                                   |                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>牛窓港湾運輸株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>田中三春</b></p> <p>〒七〇一―四三〇一<br/>瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二<br/>電話 ○八六九―三四―四九七八<br/>FAX ○八六九―三四―四一五五</p> | <p><b>アサヒプリテック株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>中西広幸</b></p> <p>〒七〇四―八一九三<br/>岡山市東区金岡西町一一五七―一<br/>電話 ○八六―九四八―四一七〇<br/>FAX ○八六―九四八―四一八二</p> | <p><b>新岡山陸運株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>木下聖士</b></p> <p>〒七〇二―八〇〇五<br/>岡山市中区江崎七四六―三<br/>電話 ○八六―二七六―一一一一<br/>FAX ○八六―二七六―二二六六</p> |
| <p><b>明和建設株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>黒田正義</b></p> <p>〒七〇九―〇六三一<br/>岡山市東区東平島一三九七<br/>電話 ○八六―二九七―三七三七<br/>FAX ○八六―二九七―四七二二</p>      | <p><b>有限会社岡一総業</b></p> <p>代表取締役 <b>頼礼</b></p> <p>〒七〇三―八二六六<br/>岡山市中区湊一三六三―一八<br/>電話 ○八六―二七四―五七三九<br/>FAX ○八六―二七四―〇五八二</p>         | <p><b>株式会社日本資源開発社</b></p> <p>代表取締役 <b>林大悟</b></p> <p>〒七〇九―〇六〇七<br/>岡山市東区浦間一一〇二<br/>電話 ○八六―二九七―二二二八<br/>FAX ○八六―二九七―二三一四</p> |
| <p><b>有限会社片岡久工務店</b></p> <p>代表取締役 <b>片岡重治</b></p> <p>〒七〇二―八〇三三<br/>岡山市南区福富東二―一七―一三<br/>電話 ○八六―二六三―二〇一〇<br/>FAX ○八六―二六三―二四六八</p> | <p><b>有限会社井上設備</b></p> <p>代表取締役 <b>井上實</b></p> <p>〒七〇二―八〇二四<br/>岡山市南区浦安南町五八四―三<br/>電話 ○八六―二六三―八七四五<br/>FAX ○八六―二六三―八四六四</p>       | <p><b>株式会社岡清組</b></p> <p>代表取締役 <b>藤井武士</b></p> <p>〒七〇〇―〇八六六<br/>岡山市北区岡南町二―五―七<br/>電話 ○八六―二三三―七二三〇<br/>FAX ○八六―二二六―〇一一三</p>  |

## 栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇—〇九四三

岡山市南区新福二—七—二〇

電話 〇八六—二六五—一二三四

FAX 〇八六—二六五—七七二二

## 株式会社フミタ組

代表取締役 文田 相律

〒七〇二—八〇一一

岡山市南区郡一二七—二—四

電話 〇八六—二六七—二五〇七

FAX 〇八六—二六七—三一一一

## 株式会社アルス工業

代表取締役 内海 光徳

〒七〇〇—〇九一二

岡山市北区大供表町七—一

電話 〇八六—二二二—二二二五

FAX 〇八六—二二二—二二二八

## 岡山磁油株式会社

代表取締役 同 前伸 一

〒七〇二—八〇四五

岡山市南区海岸通二—六—一三

電話 〇八六—二六四—六八六六

FAX 〇八六—二六四—六八六七

## 株式会社アライエンス岡山

代表取締役 内海 紀之

(本社)

〒七〇二—八〇一三

岡山市南区飽浦二—七—一

電話 〇八六—二六七—九五五〇

FAX 〇八六—二六七—九五五二

## トラスト・クリーン株式会社

代表取締役 室山 宣英

〒七〇〇—〇九四一

岡山市北区青江四—二二—二〇

電話 〇八六—二五九—五五八八

FAX 〇八六—二五九—五五七七

## 株式会社 西日本マックス

代表取締役 松田 次歳

〒七〇二—八〇一一

岡山市南区郡三〇〇番地

電話 〇八六—二六七—九九五五

FAX 〇八六—二六七—九九七七

## 株式会社 中国住宅工業

代表取締役 奥村 奈巳

〒七〇一—〇一三一

岡山市北区花尻みどり町五—一〇七

電話 〇八六—二五五—九〇〇〇

FAX 〇八六—二五五—九〇〇三

|                                                                                                                                  |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>平林金属株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>平林 実</b></p> <p>〒七〇〇—〇九七三<br/>岡山市北区下中野三四七—一〇四<br/>電 話 ○八六—二四六—〇〇一一<br/>FAX ○八六—二四六—一一〇〇</p> | <p><b>株式会社 ecoプロジェクト</b></p> <p>代表取締役 <b>松多 広樹</b></p> <p>〒七〇一—〇二二一<br/>岡山市南区藤田八九〇—六<br/>電 話 ○八六—二九六—〇七〇六<br/>FAX ○八六—二九六—〇七〇八</p>                  | <p><b>株式会社 光岡組</b></p> <p>代表取締役 <b>光岡 政勝</b></p> <p>〒七〇〇—〇九四二<br/>岡山市南区豊成一—一—一三<br/>電 話 ○八六—二二四—五三〇五<br/>FAX ○八六—二二三—二五一〇</p>                                   |
| <p><b>中野開発株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>中野 貞治</b></p> <p>〒七〇一—二二四二<br/>岡山市北区玉柏七五<br/>電 話 ○八六—二二九—二三一六<br/>FAX ○八六—二二九—三一七五</p>        | <p><b>有限会社 吉 美</b></p> <p>代表取締役 <b>石原 恵一</b></p> <p>〒七〇一—〇一六五<br/>岡山市北区大内田一三六七—一<br/>電 話 ○八六—二九三—一〇五二<br/>FAX ○八六—二九二—二〇二〇</p>                      | <p><b>株式会社 西日本アチューマツトクリン</b></p> <p>代表取締役会長 <b>藏本 忠男</b><br/>代表取締役社長 <b>藏本 悟</b></p> <p>〒七〇三—八二四五<br/>岡山市中区藤原五〇—一<br/>電 話 ○八六—二七二—八〇四二<br/>FAX ○八六—二七一—一〇五〇</p> |
| <p><b>有限会社 豊田建運</b></p> <p>取締役 <b>豊田 眞爾</b></p> <p>〒七〇九—〇七〇四<br/>赤磐市沢原一五五二<br/>電 話 ○八六—九九五—〇〇〇一<br/>FAX ○八六—九九五—二二二二</p>         | <p><b>妹尾産業有限公司</b></p> <p>代表取締役 <b>畑 貞夫</b><br/>代表取締役 <b>畑 英男</b></p> <p>〒七〇一—〇二〇六<br/>岡山市南区箕島一三〇六—二六<br/>電 話 ○八六—二八二—〇五二一<br/>FAX ○八六—二八二—〇六四七</p> | <p><b>小野建設株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>小野 勝己</b></p> <p>〒七〇一—一二〇五<br/>岡山市北区佐山一三六四—三<br/>電 話 ○八六—二八四—七一六一<br/>FAX ○八六—二八四—六八五四</p>                                   |

## 横山商事株式会社

代表取締役

横山 忠彦

〒七〇一—三三二〇二

備前市日生町寒河二五五九

電話

〇八六九—七二—一三〇一  
FAX 〇八六九—七二—一三〇五

## 株式会社フルカワ商事

代表取締役

古川 悦生

〒七一〇—〇八三五

倉敷市四十瀬三四三—三

電話

〇八六—四二四—八〇二〇  
FAX 〇八六—四二七—三六九九

## 株式会社美建ビルサービス

代表取締役

小林 建雄

〒七一〇—〇〇一六

倉敷市中庄二二四八—四

電話

〇八六—四六三—一三五一  
FAX 〇八六—四六三—一七七九

## コーワン株式会社

代表取締役

中崎 千幸

〒七〇五—〇〇二二

備前市東片上二一三—一

電話

〇八六九—六四—三三三三  
FAX 〇八六九—六四—三三三六

## 水島エコワークス株式会社

代表取締役社長

藤井 和夫

〒七一一—八〇七四

倉敷市水島川崎通一—一四—五

電話

〇八六—四四七—三二五五  
FAX 〇八六—四四七—三二五七

## 株式会社田中商会

代表取締役

室山 敏彦

〒七一〇—〇八〇三

倉敷市中島一三九五

電話

〇八六—四六五—三〇五〇  
FAX 〇八六—四六五—三〇五一

## 日生運輸株式会社

代表取締役

伊賀 資耕

〒七〇五—〇〇二三

備前市伊里中五八八—一

電話

〇八六九—六七—二五五五  
FAX 〇八六九—六七—〇四六八

## 倉敷企業株式会社

代表取締役

井上 正士

〒七一〇—〇八四二

倉敷市吉岡二九三—一

電話

〇八六—四二四—六四二九  
FAX 〇八六—四二一—九一九〇

## 協同組合 倉敷市環境保全協会

代表理事

岡井 智之

〒七一〇—〇〇三八

倉敷市新田二三二—八

電話

〇八六—四二二—七三七一  
FAX 〇八六—四二一—五四二七

|                                                                                                                                 |                                                                                                                                 |                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>NEXTWORKS株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>新谷清志</b></p> <p>〒七二〇—〇一四五<br/>倉敷市福江一一八三</p> <p>電話 〇八六—四八六—五一五六<br/>FAX 〇八六—四八六—五一六七</p> | <p><b>有限会社 陸正開発</b></p> <p>代表取締役 <b>大熊正嗣</b></p> <p>〒七二一—八〇一二<br/>倉敷市連島一丁目一七—一九</p> <p>電話 〇八六—四四四—一一二七<br/>FAX 〇八六—四四四—七二二五</p> | <p><b>山本舗材株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>山本堅司</b></p> <p>〒七二一—〇九〇六<br/>倉敷市児島下の町三—一四—四六</p> <p>電話 〇八六—四七三—一一七三<br/>FAX 〇八六—四七三—一一八三</p> |
| <p><b>坂川建設鋳業株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>坂川晃一</b></p> <p>〒七二四—一四〇五<br/>井原市美星町宇戸一〇五五</p> <p>電話 〇八六六—八七—二六二六<br/>FAX 〇八六六—八七—二六二七</p> | <p><b>有限会社 藤充建設工業</b></p> <p>会長 <b>藤原浩司</b></p> <p>〒七二五—〇〇一九<br/>井原市井原町三五五七—二九</p> <p>電話 〇八六六—六二—〇七一<br/>FAX 〇八六六—六二—〇三〇二</p>   | <p><b>株式会社 アースクリエイト</b></p> <p>代表取締役 <b>三好員弘</b></p> <p>〒七二四—一二一五<br/>小田郡矢掛町中一七〇</p> <p>電話 〇八六六—八二—三〇三一<br/>FAX 〇八六六—八二—三四〇〇</p> |
| <p><b>山陽環境開発株式会社</b></p> <p>取締役会長 <b>岩元 博</b></p> <p>〒七二八—〇〇〇三<br/>新見市高尾二三〇四—一</p> <p>電話 〇八六七—七二—五四一五<br/>FAX 〇八六七—七二—一七八〇</p>  | <p><b>株式会社 平松運輸</b></p> <p>代表取締役 <b>平松敬史</b></p> <p>〒七二六—〇二〇七<br/>高梁市川上町仁賀六二七</p> <p>電話 〇八六六—四八—三五八八<br/>FAX 〇八六六—四八—三二六一</p>   | <p><b>株式会社 日 住</b></p> <p>代表取締役社長 <b>高橋克実</b></p> <p>〒七二九—〇二五四<br/>浅口市鴨方町六条院東五〇九</p> <p>電話 〇八六五—四四—七八八八<br/>FAX 〇八六五—四四—六五一三</p> |

# エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 石川 統一

〒七〇八―一五二三  
久米郡美咲町吉ヶ原一〇四八―二  
電話 〇八六八―六二―一三四一  
FAX 〇八六八―六二―一三四〇

# 坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂 申洋

〒七〇九―三六三三  
久米郡久米南町山手六四五  
電話 〇八六―七二八―二八一―  
FAX 〇八六―七二八―二四六〇

# 株式会社 廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八―〇〇一三  
津山市二宮八七〇  
電話 〇八六八―二八―二〇五一  
FAX 〇八六八―二八―二一四八

# 株式会社 三美産業

代表取締役 妹尾 芳訓

〒七一六―〇二〇三  
高梁市川上町三沢四三四二―二  
電話 〇八六六―四八―二八七八  
FAX 〇八六六―四八―二八七九

今年もよろしく  
お願い申し上げます



# 有限会社 フクイクリーン

代表取締役 福井 太郎

〒七〇七―〇〇二四  
美作市檜原下一四五  
電話 〇八六八―七二―一一一九  
FAX 〇八六八―七三―〇四五五

# 山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七一六―〇〇四五  
高梁市中原町一五四二―六  
電話 〇八六六―二二―一〇三五  
FAX 〇八六六―二二―一三二六

# 株式会社 新岡山工業

代表取締役 田口 孝利

〒七〇八―一五二三  
久米郡美咲町吉ヶ原字稲千一〇四八―二  
電話 〇八六八―六二―二七七五  
FAX 〇八六八―六二―二七七六

# 末沢建設株式会社

代表取締役 末澤 由博

〒七〇八―一一二六  
津山市押入一二一九―七  
電話 〇八六八―二六―一一七三  
FAX 〇八六八―二六―一一七二

# 低燃費 さらに 高耐久

あらゆる現場からの期待に  
コベルコは高耐久で応えつづける。



稼働を  
止めない  
高耐久



圧倒的な低燃費性能にさらなる高耐久性能を  
手に入れ「地球型建機」として力強い進化を遂げた。

**Generation10シリーズ登場**

**コベルコ建機日本株式会社**

〒700-0953 岡山県岡山市南区西市 575  
中四国支社 中国東営業所 TEL : 086-239-2332 FAX : 086-239-2334

コベルコの最新情報はここから

コベルコ建機Webサイト YouTube チャンネル



Logisnext

## ロジスネクストユニキャリア株式会社

ユニキャリア株式会社は2017年10月1日付で製販分離し、  
国内販売部門はロジスネクストユニキャリアに社名変更しました。  
一方、製造部門はニチュ三菱フォークリフト株式会社と経営統合し、  
三菱ロジスネクスト株式会社に社名変更を行いました。



## ZH200 ハイブリッドショベル

そのシステム、全てが主役。

日立建機の技術と創造力を結集させた  
「本気」のハイブリッドショベル。



国土交通省 指定型式登録機械  
特定特殊自動車計測計器2014年基準適合車



重機・建設機械・林業機械・道路機械・産業車両の販売・買取・レンタル・整備メンテナンス

## 富士岡山運搬機株式会社

三菱ロジスネクスト岡山県代理店  
日立建機特約店・その他メーカー代理店

充実のワンストップサービスであなたをサポートします！

買いたいとき  
-Buy-

安心の販売実績  
豊富な商品



借りたいとき  
-Rental-

大型フォークリフトや  
林業機械充実



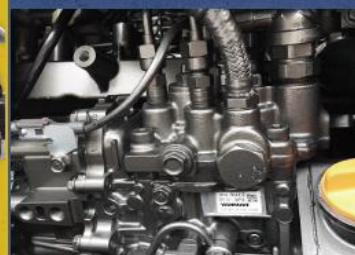
売りたいとき  
-Sell-

どこよりも高価買取  
致します!!



直したいとき  
-Services-

ダントツの  
スピード対応



本社・工場所在地 & レンタル事業部

〒708-0884 岡山県津山市津山口111-1

TEL. 0868-24-3211 TEL. 0868-23-4115(レンタル事業部) FAX.0868-23-4115

岡山支店 & 中古事業部

〒702-8005 岡山県岡山市中区江崎84-1

TEL : 086-277-5100 TEL : 086-274-7012(中古車事業部) FAX.086-274-7012

新見支店

〒718-0015 岡山県新見市石蟹267-9

TEL : 0867-76-9077 FAX : 0867-76-9078

鳥取支店

〒689-1121 鳥取県鳥取市南栄町33-15

TEL : 0857-50-1985 FAX : 0857-50-1995

美作デポ店

〒707-0036 岡山県美作市北原75-6

TEL : 0868-72-9291 FAX : 0868-72-9291



ホームページ

<http://www.fuji-group.com/>

富士岡山

検索

FOR YOU

FUJI OKAYAMA UNPANKI CO., LTD.

富士グループ